

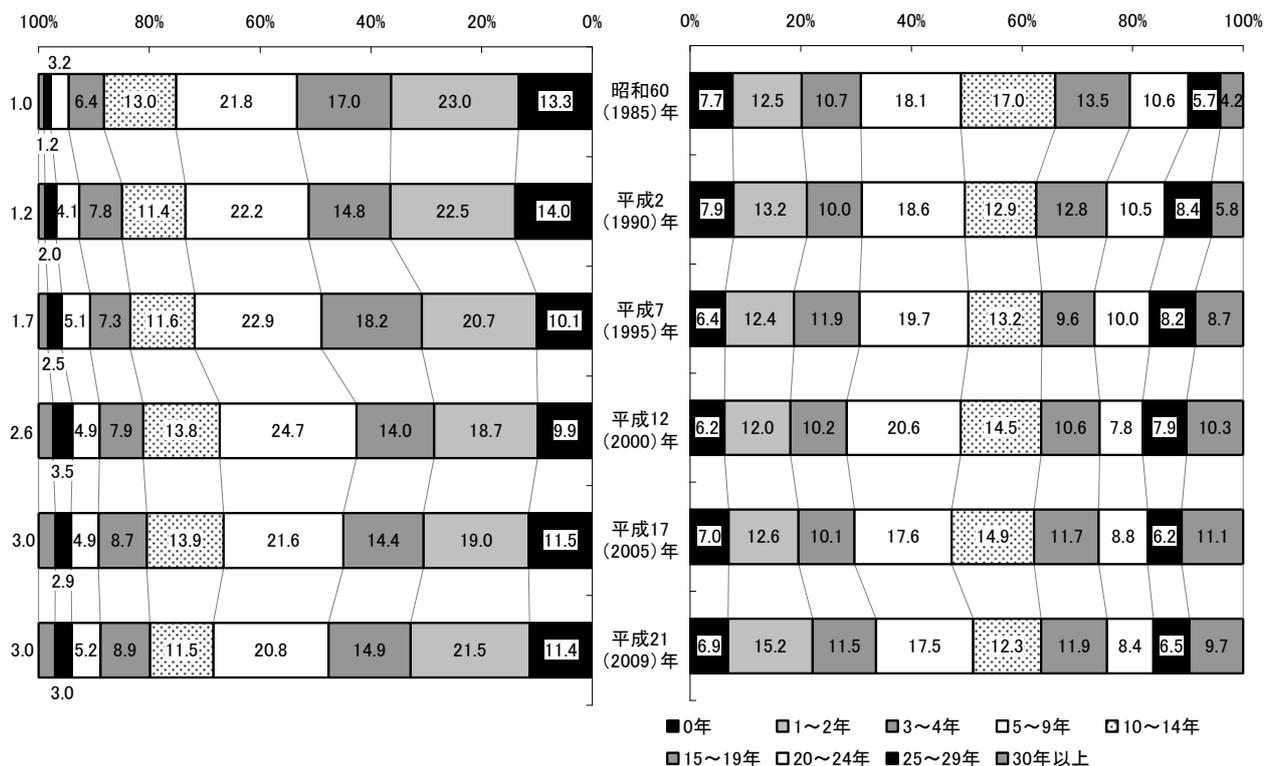
I あらゆる分野への参画の促進

I-4. 女性のチャレンジ支援

1. 勤続年数階級別雇用者数

女性の雇用者数を勤続年数別にみると、勤続10年以上は昭和60(1985)年の24.8%から平成17(2005)年の33.4%まで増加を続けたものの、平成21(2009)年には31.6%とやや減少している。一方、勤続1~4年は平成12(2000)年から増加傾向にあり、平成21(2009)年には36.4%と勤続10年以上を上回っている。

図表 I-4-1 勤続年数階級別雇用者構成割合 (全国)
 <女性> <男性>



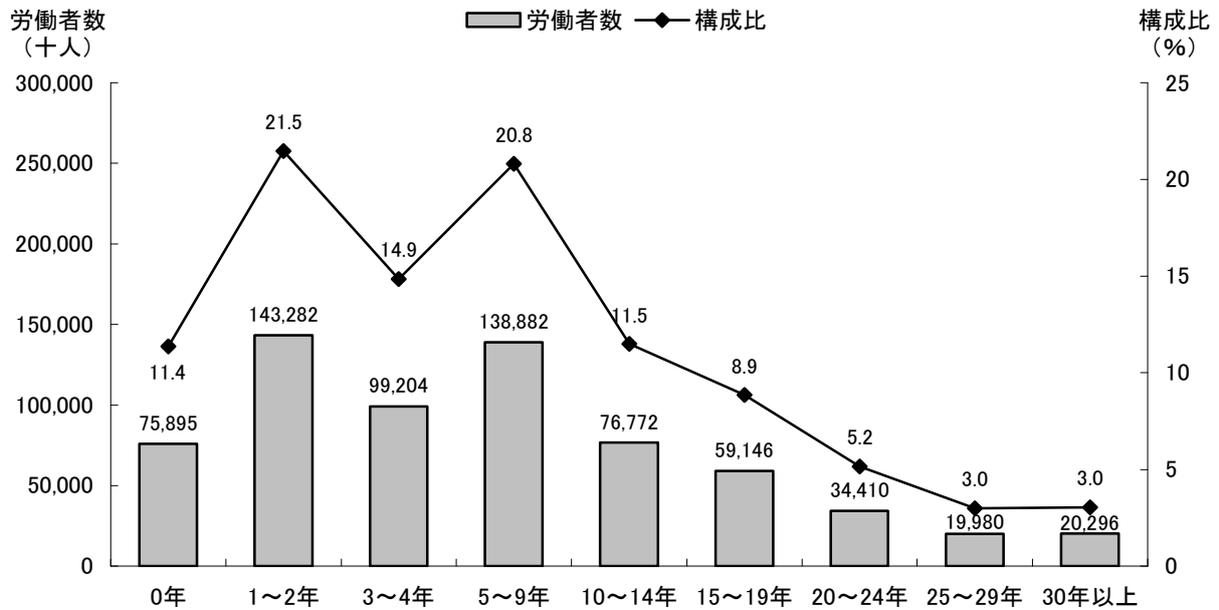
注：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より勤続年数階級別雇用者構成割合の推移を内閣府作成

資料：内閣府「平成22年版男女共同参画白書」

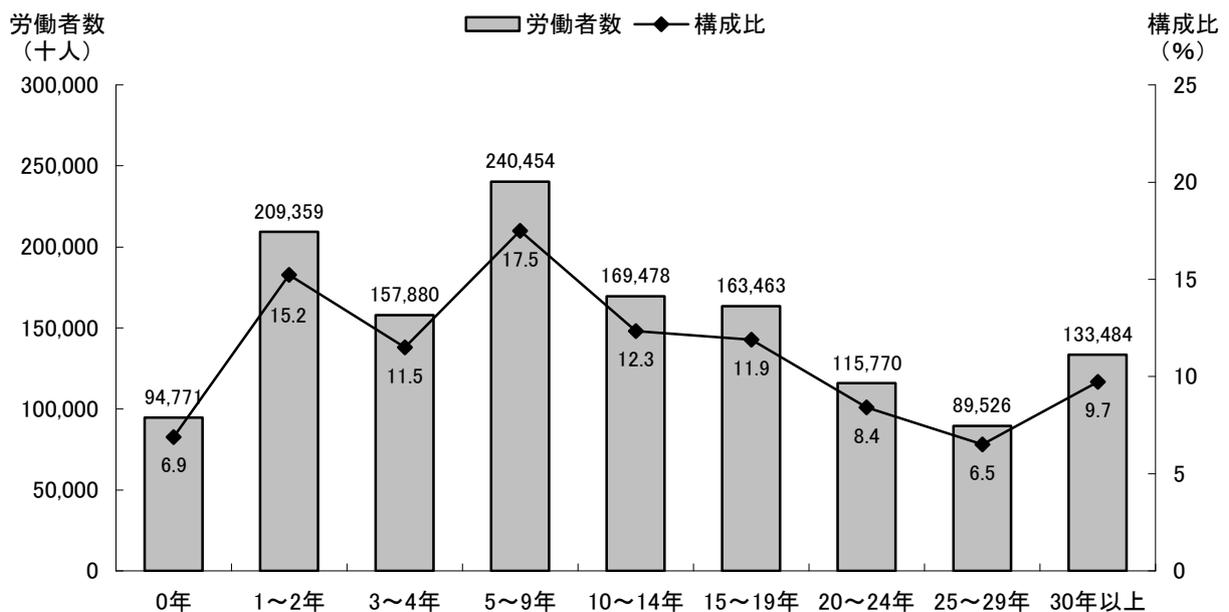
勤続年数階級別労働者数の構成比を男女別にみると、勤続年数が20年以上の女性が11.2%であるのに対し、男性は24.6%と女性を大きく上回っている。特に女性の25～29年、30年以上はそれぞれ3.0%と低くなっている。

図表 I - 4 - 2 勤続年数階級別労働者数と割合 (全国)

<女性>



<男性>



資料：厚生労働省「平成21年賃金構造基本統計調査」

I あらゆる分野への参画の促進

2. HDI、GII、GGI における日本の順位

人間開発に関する指標についてみると、日本は人間開発指数（HDI）が 169 か国中 11 位、ジェンダー不平等指数（GII）が 138 か国中 12 位であるのに対し、ジェンダー・ギャップ指数（GGI）では 134 か国中 94 位となっている。

図表 I - 4 - 3 HDI、GII、GGI における日本の順位

①HDI (人間開発指数)			②GII (ジェンダー不平等指数)			③GGI (ジェンダー・ギャップ指数)		
順位	国名	HDI値	順位	国名	GII値	順位	国名	GGI値
1	ノルウェー	0.938	1	オランダ	0.174	1	アイスランド	0.850
2	オーストラリア	0.937	2	デンマーク	0.209	2	ノルウェー	0.840
3	ニュージーランド	0.907	3	スウェーデン	0.212	3	フィンランド	0.826
4	米国	0.902	4	スイス	0.228	4	スウェーデン	0.802
5	アイルランド	0.895	5	ノルウェー	0.234	5	ニュージーランド	0.781
6	リヒテンシュタイン	0.891	6	ベルギー	0.236	6	アイルランド	0.777
7	オランダ	0.890	7	ドイツ	0.240	7	デンマーク	0.772
8	カナダ	0.888	8	フィンランド	0.248	8	レソト	0.768
9	スウェーデン	0.885	9	イタリア	0.251	9	フィリピン	0.765
10	ドイツ	0.885	10	シンガポール	0.255	10	スイス	0.756
11	日本	0.884	11	フランス	0.260	11	スペイン	0.755
12	韓国	0.877	12	日本	0.273	12	南アフリカ共和国	0.754
13	スイス	0.874	13	アイスランド	0.279	13	ドイツ	0.753
14	フランス	0.872	14	スペイン	0.280	14	ベルギー	0.751
15	イスラエル	0.872	15	キプロス共和国	0.284	15	英国	0.746
16	フィンランド	0.871	16	カナダ	0.289	16	スリランカ	0.746
17	アイスランド	0.869	17	スロベニア	0.293	17	オランダ	0.744
18	ベルギー	0.867	18	オーストラリア	0.296	18	ラトビア共和国	0.743
19	デンマーク	0.866	19	オーストリア	0.300	19	米国	0.741
20	スペイン	0.863	20	韓国	0.310	20	カナダ	0.737
21	香港	0.862	21	ポルトガル	0.310	21	トリニダード・トバゴ	0.735
22	ギリシャ	0.855	22	ラトビア共和国	0.316	22	モザンビーク	0.733
23	イタリア	0.854	23	ギリシャ	0.317	23	オーストラリア	0.727
24	ルクセンブルグ	0.852	24	ルクセンブルグ	0.318	24	キューバ	0.725
25	オーストリア	0.851	25	ニュージーランド	0.320	25	ナミビア	0.724
26	英国	0.849	26	ポーランド	0.325	26	ルクセンブルグ	0.723
27	シンガポール	0.846	27	チェコ共和国	0.330	27	モンゴル	0.719
28	チェコ共和国	0.841	28	イスラエル	0.332	28	コスタリカ	0.719
29	スロベニア	0.828	29	アイルランド	0.344			
30	アンドラ	0.824	30	クロアチア	0.345	94	日本	0.652

注 1 : 国連開発計画 (UNDP) 「Human Development Report 2009」及び世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2010」より作成。

注 2 : 測定可能な国数は、HDI は 169 か国、GII は 138 か国、GGI は 134 か国。

注 3 : 「HDI 人間開発指数 (Human Development Index)」とは、「長寿を全うできる健康的な生活」、「教育」及び「人間らしい生活水準」という人間開発の 3 つの側面を簡略化した指数。具体的には、平均寿命、教育水準 (成人識字率と就学率)、調整済み一人当たり国民所得を用いて算出している。

注 4 : 「GII ジェンダー不平等指数 (Gender Inequality Index)」とは、リプロダクティブヘルス、エンパワーメント、労働市場への参加におけるジェンダー間の不平等により、人間開発の成果がどの程度失われているかを示す指標。妊産婦死亡率、15-19 歳の女性 1000 人あたりの出生数、国会の議席に占める女性議員比率、中・高等教育を受けた成人女性の割合、女性の労働市場への参加率を用いて算出している。2010 年から導入され、これまでの GDI (ジェンダー開発指数) と GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数) にかわる指数。

注 5 : 「GGI ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index)」とは、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもの。経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから算出され、0 が完全不平等、1 が完全平等を意味している。GEM が、国の開発レベルの影響を受け、必ずしも男女間格差を示せないことに比べ、性別による格差を明らかにできる。

資料 : 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(平成 23 年 1 月)